

03500.017923



IFW

PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of: )  
KENGU TAKEUCHI ) : Examiner: Not Yet Assigned  
Application No.: 10/781,740 ) : Group Art Unit: 2615  
Filed: February 20, 2004 ) :  
For: REPRODUCING APPARATUS ) June 30, 2004

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Sir:

In support of Applicant's claim for priority under 35 U.S.C. § 119, enclosed is  
a certified copy of the following foreign application:

JAPAN 2003-052557, filed February 28, 2003.

Applicant's undersigned attorney may be reached in our New York office by telephone at (212) 218-2100. All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,

  
\_\_\_\_\_  
Attorney for Applicant  
Fritz Klantschi

Registration No.50,333

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO  
30 Rockefeller Plaza  
New York, New York 10112-3800  
Facsimile: (212) 218-2200

NY\_MAIN 437385v1

CF017923

US/ser.

10/181,740  
03500.017923

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2003年 2月 28日

出願番号 Application Number: 特願 2003-052557

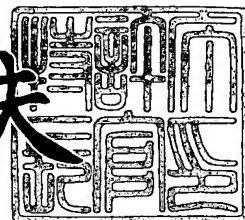
[ST. 10/C]: [JP 2003-052557]

出願人 Applicant(s): キヤノン株式会社

2004年 3月 15日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特 2004-3020350

【書類名】 特許願

【整理番号】 251231

【提出日】 平成15年 2月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/00

【発明の名称】 再生装置

【請求項の数】 1

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

【氏名】 竹内 健悟

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100090273

【弁理士】

【氏名又は名称】 國分 孝悦

【電話番号】 03-3590-8901

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 035493

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705348

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 再生装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録媒体より画像データを再生する再生手段と、過去に前記画像データの再生を停止した日時を検出し、この再生停止日時に基づいて前記画像データにおける再生開始位置を決定する決定手段と、再生開始の指示に応じて、前記決定手段により決定された再生開始位置より前記画像データの再生を開始するよう前記再生手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像データの再生を一時中断し、後に再度再生する場合に活用されるレジューム機能を備えた再生装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

現在、動画記録再生にはDVDなどの光ディスク、ハードディスクなどの磁気ディスク、VHSなどのテープ式のさまざまな記録媒体が用いられている。テープ式の記録媒体の場合、再生を一度中断して再び再生するとき、前回停止個所から再生を行うのは言うまでもない。

【0003】

しかし、ディスク形式の媒体ではランダムアクセスは可能であるが、ディスクから読み取る位置が停止ごとにリセットされる。よって、レジューム用にメモリを確保するなど、再生を停止した時の位置情報を保存する手段を備えて、「前回停止位置から再生」というレジューム機能を達成している。動画の記録媒体への記録方式は複数あるが、何れの記録方式でも前回停止位置よりレジューム再生を行っている。特開2002-25235号公報には、その追加機能として、レジューム位置より前のシーンのダイジェスト再生を行えるものが開示されている。

【0004】

**【特許文献1】**

特開2002-25235号公報

**【0005】****【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、前回停止時から再び同じコンテンツの動画を再生する場合、ユーザにとって二つの不安が残る。一つはレジューム再生機能とはいえ、見逃しているシーンが数秒でもないか、もう一つは、再生済みのシーンをすぐに思い出すことができるかということである。一般に、動画再生を途中で停止するときには、停止ボタンを押すためリモートコントローラを探すなど、数秒のシーンを見逃すことも多い。また、過去に見たコンテンツの続きを再生するとしても、前回に見た時間が過去になればなるほど、忘却していくものである。

**【0006】**

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、ユーザに対して更に利便性の高い再生装置を提供することを目的とする。

**【0007】****【課題を解決するための手段】**

斯かる目的を達成するために、本発明の再生装置は、記録媒体より画像データを再生する再生手段と、過去に前記画像データの再生を停止した日時を検出し、この再生停止日時に基づいて前記画像データにおける再生開始位置を決定する決定手段と、再生開始の指示に応じて、前記決定手段により決定された再生開始位置より前記画像データの再生を開始するよう前記再生手段を制御する制御手段とを備えることを特徴としている。

**【0008】****【発明の実施の形態】**

以下、本発明を適用した好適な実施形態を、添付図面を参照しながら詳細に説明する。

先ず、本発明の実施形態を概念的に説明する。図1は、帶グラフを用いて記録媒体(DVD, ハードディスクなど)上に記録された動画のコンテンツA～Dを帶グラフ的に示した図である。この記録媒体に記録された動画を本再生装置に設置して、

コンテンツAの位置0からコンテンツBの位置1000まで再生し、停止した状態となっている。この時、コンテンツAについて先ず生成されるレジュームアドレスは、A1の位置になり、コンテンツAの最後尾のアドレスより数秒前に遡った位置に設定される。このレジュームアドレスの位置は、次の再生までの時間の経過に伴ってA2, A3と所定期間ずつ遡って算出される。次の再生までの時間が一定時間以上経過するとコンテンツAの先頭位置までレジュームアドレスがもどり、事实上、後述するレジュームデータが初期化（または消滅）される。

#### 【0009】

コンテンツBについても同様に、停止アドレスから数秒遡った位置にレジュームアドレスB1が設定され、次の再生までの時間の経過に伴ってB2, B3と所定期間ずつ遡って設定されていく。即ち、レジューム再生の指示を受けると、前回の再生停止時からそのレジューム再生までの時間の経過に伴ってレジュームアドレスがB1, B2, B3と順次設定されていくことになる。また、ユーザの操作によりB3からのレジューム再生中にB1へスキップ再生することもできる。更にこの場合、B3とB1間を分割して段階的にスキップ再生することも可能である。

#### 【0010】

次に、図2を用いて本発明の一実施形態に係る再生装置のハードウェア構成を説明する。

再生装置内に挿入された動画記録媒体(例えば、DVD-Video、VIDEO CD、HDD、DVDRAM、メモリカードなど)内に記録された動画データ(101)、動画データ(101)を記録媒体から読み出す読み取り回路(102)、その読み取り回路(102)から送られる動画データ(101)をNTSCなどのビデオ信号出力に変換するデコーダ(104)、ユーザが操作可能な再生ボタンや停止ボタンなどの操作スイッチ(105)、水晶振動子などを用いて正確な時を刻むタイマ(107)（リアルタイムクロック）、電源をオフにしても情報を保持し、アドレスデータなどを記録可能な不揮発性メモリ(103)、これらを制御するシステムコントローラ(106)によって構成されている。システムコントローラ(106)はマイクロプロセッサ、作業用のメモリ、ソフトプログラムを書きこむROMなどで構成されており、レジュームアドレスの計算などの基本的な演算や操作スイッチなどの制御を行っている。

### 【0011】

ここで、図3に不揮発性メモリに格納されるレジュームデータの一構成例を模式的に示す。

本実施形態における不揮発性メモリは、コンテンツを識別するための識別ID、再生を停止した日時、及び、停止アドレスをコンテンツ毎に記録する。また、レジュームアドレスを計算する方法によって適宜変更可能であるが、ここではその計算処理のために動画の圧縮方式やそのコンテンツの総フレーム数を記録しておき、停止アドレスからレジュームアドレスまでに遡らせる時間と実際のレジュームアドレスの位置との関係をフレーム数を用いて表すことが可能となる。

### 【0012】

<第1の実施形態>

次に、本発明の第1の実施形態に係る再生装置の動作を図4のフローチャートを用いて説明する。

先ず、再生装置に動画が記録された記録媒体を挿入する(S301)。続いて、ユーザが再生するコンテンツを選択した後(S302)、再生操作が操作スイッチを用いて行われると(S303)、システムコントローラ(106)は、選択されたコンテンツのレジュームデータを不揮発性メモリへ取得しにいき、選択されたコンテンツが以前に再生されたものか、初めて再生されるコンテンツなのか、コンテンツの識別IDの一一致するレジュームデータを検索する(S304)。

### 【0013】

本再生装置による再生が初めての場合、このレジュームデータは存在しないため、読み取り回路(102)は選択されたコンテンツの動画データをコンテンツの先頭アドレスから読み出し(S305)、デコーダ(104)を通してビデオ信号に変換して通常再生を行う。S311において、選択されたコンテンツの再生が終って停止するか、続いて別のコンテンツの再生が行われると判断された場合、再生していたコンテンツの停止アドレスを取得するとともに(S316)、停止時の時刻とコンテンツの識別IDを取得する(S314)。これらのデータをまとめてレジュームアドレスデータとして、不揮発性メモリに記録する(S315)。

### 【0014】

ユーザがコンテンツの終了前に、S312にて操作スイッチで停止操作を行うと、システムコントローラ(106)は、停止直後に読み取り回路(102)から読み出しているアドレスデータを停止アドレスデータとして取得するとともに(S313)、停止時の時刻やコンテンツの識別IDを取得する(S314)。これらのデータをまとめてレジュームデータとして不揮発性メモリに記録すると(S315)、コンテンツの再生入力待ち状態S302に戻る。

#### 【0015】

不揮発性メモリにレジュームデータが保存されていると、S304において当該コンテンツが再生装置で以前に再生されていると判断され、処理をS306に移し、レジューム再生する日時と不揮発性メモリに保存されている以前停止した日時との2つの情報に基づいて、レジューム再生を開始するレジュームアドレスを計算する。

#### 【0016】

S307では、その算出されたレジュームアドレスより再生をスタートする。つまり、タイマの現在時間と不揮発性メモリに格納されているレジュームデータの停止時の時間を比較して、その時間差の大きさに応じて再生スタート位置(レジューム位置)を過去に戻すように計算する。このレジュームアドレスの算出処理は、例えば、フレーム数を数えるなど時間単位で計算すること等により行われる。次に、算出されたレジュームアドレスを読み取り回路(102)に伝え、再生をスタートする。例えば、前回停止日時が1時間前なら前回停止個所の5秒前、1日前なら15秒前、2日前なら30秒前のようにする。

#### 【0017】

S307では、このように設定されたレジュームアドレスから再生が始まられる。過去に見たはずのシーンからの再生であるため、停止アドレスに到達(S308)する前に、ユーザが例えば再生ボタンの二度押しなどを行うことにより、停止アドレスへのスキップ再生を行うことができる(S309)。この停止アドレスに到達したら、通常の再生動作を停止アドレスから行う(S310)。また、付加的にこの計算されたレジュームアドレスから停止アドレスの区間を分割して再生するダイジェスト的な再生もソフト的に容易に可能である。

### 【0018】

#### <第2の実施形態>

次に、本発明の第2の実施形態に係る再生装置の動作を図5のフローチャートを用いて説明する。本実施形態では、前回の再生日時からレジューム再生が行われるまでの日時が一定期間以上経過した場合に当該コンテンツのレジュームデータを消去するものである。図5のフローチャートは、図4においてS306とS307の間にS501の処理が加えられた形になっている。よって、以下では、第1の実施形態との相違点についてのみ説明するものとする。

### 【0019】

本実施形態では、図5のS306において、選択されたコンテンツをレジューム再生する日時と、不揮発性メモリに保存されている前回停止した日時の2つの情報に基づいてレジューム再生を開始するアドレスを計算するが、前回の再生日時からレジューム再生の日時までの期間が一定期間を経過している場合、レジュームアドレスは消去するように制御している。

### 【0020】

よって、S501においてレジュームデータが消去されている場合にはS305に移り、コンテンツの先頭アドレスからレジューム再生をスタートする。また、レジュームアドレスが消去されていない場合には、S307に移り、計算されたレジュームアドレスからのレジューム再生をスタートする。ここで、消去対象のレジュームデータを判断する際には、現在の時刻と保持されているレジュームデータの時刻情報を比較し、その時間差が一定期間を経過しているものを判定することにより行われる。これにより、メディアの投入やコンテンツの再生操作がなくとも、古いレジュームデータを不揮発性メモリから消去することが可能となる。

### 【0021】

尚、上記実施形態では、コンテンツの再生を前回停止したときの停止時間と停止アドレス等のレジュームデータを不揮発性メモリから読み取る構成を例示したが、動画を記録する記録媒体に図3のレジュームデータを記録し、その記録媒体からレジュームデータを読み取るように構成してもよい。この場合、記録媒体に対するデータ書き込み手段が必要となるが、これはDVDレコーダやHDDレコ

ード等の公知の技術を利用することによって構成することができる。

#### 【0022】

また、上記実施形態では、図1にも示すように、停止アドレスから複数段階（上記実施形態では、3段階）に分けて徐々に再生開始位置（レジュームアドレス）を変える構成を例示しているが、その他の実施形態として、例えば1週間、或いは1カ月等、再生を停止してから所定期間経過するまではその停止アドレスの直前位置から再生し、所定期間経過後は当該コンテンツの先頭位置から再生するように構成してもよい。

#### 【0023】

以上説明したように、本発明の実施形態によれば、レジューム再生するポイントを前回停止位置の数秒前に設定することで過去に見た映像とのつながりをわかり易くし、レジューム再生を行う場合において、一般的な人間の記憶に沿った形での再生動作を自動的に行うことが可能となる。

#### 【0024】

また、次回再生するときのレジューム位置を時間の経過と共にレジュームアドレスを前へ移動させることで、再生済みシーンの内容を思い出しやすく、確認しやすいようになる。

#### 【0025】

また、現時点から一定期間を経過したレジュームデータを消去することにより、レジュームデータを保持するメモリ容量の確保が有効となる。

#### 【0026】

また、レジューム再生途中で内容を把握した時点でユーザが何らかの操作を行うことで、前回停止時の停止アドレスにスキップして、本来のレジューム再生位置に容易に戻すことが可能となり、利便性の高いレジューム機能を提供することができる。

#### 【0027】

また、動画のメディア交換が行われても、コンテンツの識別情報によりレジュームデータの管理を行っているので、コンテンツ毎にレジュームアドレスを設定することが可能である。

**【0028】**

さらに、既に再生し終えたコンテンツを再び再生するときにもレジューム機能を利用することが可能であり、そのコンテンツ内容の最後のシーンを確認することや、上記スキップ再生等を同様に行うことができる。

**【0029】**

また、本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、達成されることは言うまでもない。

**【0030】**

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、プログラムコード自体及びそのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

**【0031】**

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えば、フレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM等を用いることができる。

**【0032】**

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOS（基本システム或いはオペレーティングシステム）などが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

**【0033】**

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部又は全部を行い、そ

の処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

#### 【0034】

ここで、本発明の実施態様を以下に列挙する。

[実施態様1] 記録媒体より画像データを再生する再生手段と、過去に前記画像データの再生を停止した日時を検出し、この再生停止日時に基づいて前記画像データにおける再生開始位置を決定する決定手段と、再生開始の指示に応じて、前記決定手段により決定された再生開始位置より前記画像データの再生を開始するよう前記再生手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする再生装置。

#### 【0035】

[実施態様2] 前記画像データの再生を停止した日時を示す停止日時情報を保持する保持手段を更に有し、

前記決定手段は、前記保持手段に保持されている停止日時情報に基づいて前記過去の再生停止日時を検出することを特徴とする実施態様1記載の再生装置。

#### 【0036】

[実施態様3] 前記決定手段は、前記画像データの再生を停止してから所定期間経過している場合には前記画像データの先頭位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様1記載の再生装置。

#### 【0037】

[実施態様4] 前記決定手段は、前記画像データの再生を停止してから所定期間経過していない場合には、前記画像データにおける過去の再生停止位置に係る所定の位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様1記載の再生装置。

#### 【0038】

[実施態様5] 前記過去の再生停止位置を示す停止位置情報を保持する保持手段を更に有し、

前記決定手段は、前記保持手段に保持されている停止位置情報に基づいて前記所定の位置を決定することを特徴とする実施態様4記載の再生装置。

**【0039】**

[実施態様6] 前記決定手段は、前記再生停止位置より所定時間前の位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様5記載の再生装置。

**【0040】**

[実施態様7] 前記決定手段は前記再生停止日時に基づいて前記画像データの再生を停止してから前記再生開始の指示までの経過期間を検出し、この経過期間に対応した位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様1記載の再生装置。

**【0041】**

[実施態様8] 前記決定手段は、前記経過時間が長いほど前記画像データにおいてより先頭に近い位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様7記載の再生装置。

**【0042】**

[実施態様9] 現在時刻を計時するタイマを備え、前記検出手段は前記タイマの出力を用いて前記経過期間を検出することを特徴とする実施態様7または8記載の再生装置。

**【0043】**

[実施態様10] 前記再生手段は更に、前記画像データの再生を停止した日時を示す停止日時情報を前記記録媒体から再生し、前記決定手段は前記再生手段により再生された停止日時情報に基づいて前記画像データの再生を停止した日時を検出することを特徴とする実施態様1記載の再生装置。

**【0044】**

[実施態様11] 記録媒体より画像データを再生する再生手段と、  
過去に前記画像データの再生を停止した日時と前記再生停止時における再生停止位置とを検出し、この再生停止日時及び再生停止位置に基づいて前記画像データにおける再生開始位置を決定する決定手段と、  
再生開始の指示に応じて、前記決定手段により決定された再生開始位置より前記画像データの再生を開始するよう前記再生手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする再生装置。

**【0045】**

[実施態様12] 前記決定手段は前記再生停止日時に基づいて前記画像データの再生を停止してから前記再生開始の指示までの経過期間を検出し、前記再生停止位置から前記経過期間に対応した所定の期間だけ遡った位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様11記載の再生装置。

**【0046】**

[実施態様13] 前記決定手段は、前記経過期間が短いほど前記再生停止位置により近い位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様12記載の再生装置。

**【0047】**

[実施態様14] 前記決定手段は前記経過期間が第1の期間以内である場合には前記再生停止位置から第1の所定時間だけ遡った位置を前記再生開始位置とし、前記経過期間が前記第1の期間よりも長い第2の期間以内で前記第1の期間を超える場合には前記再生停止位置から前記第1の所定時間より長い第2の所定時間だけ遡った位置を前記再生開始位置とすることを特徴とする実施態様12または13記載の再生装置。

**【0048】**

[実施態様15] 前記制御手段は更に、前記決定手段により決定された再生開始位置から前記画像データの再生を開始した後、スキップの指示に応じて前記再生停止位置より再生を開始するよう前記再生手段を制御することを特徴とする実施態様12記載の再生装置。

**【0049】**

[実施態様16] 前記画像データの再生を停止した日時を示す停止日時情報と前記過去の再生停止位置を示す停止位置情報を保持する保持手段を更に有し、

前記決定手段は、前記保持手段に保持されている停止日時情報と停止位置情報とに基づいて前記再生開始位置を決定することを特徴とする実施態様11記載の再生装置。

**【0050】**

[実施態様17] 前記保持手段は、最後に再生を停止した日時を示す停止日時情

報と、最後に再生を停止した位置を示す停止位置情報を記憶することを特徴とする実施態様16記載の再生装置。

#### 【0051】

〔実施態様18〕前記再生手段は、複数のコンテンツに係る前記画像データを前記記録媒体より再生し、前記保持手段は、前記複数のコンテンツ毎に前記停止日時情報と前記停止位置情報を保持することを特徴とする実施態様16または17記載の再生装置。

#### 【0052】

〔実施態様19〕再生指示に応じて記録媒体より画像データを再生する再生装置であって、

前回前記画像データの再生を停止してから前記再生開始の指示までの経過期間が所定期間を超えている場合には前記画像データの先頭より再生を開始し、前記経過期間が前記所定期間よりも短い場合には前回前記画像データの再生を停止した位置の直前の位置より再生を開始することを特徴とする再生装置。

#### 【0053】

〔実施態様20〕記録媒体より画像データを再生する再生手段を有する再生装置による画像データ再生方法であって、

過去に前記画像データの再生を停止した日時を検出し、この再生停止日時に基づいて前記画像データにおける再生開始位置を決定し、再生開始の指示に応じて、前記再生開始位置より前記画像データの再生を開始するよう制御することを特徴とする画像データ再生方法。

#### 【0054】

〔実施態様21〕記録媒体より画像データを再生する再生手段を有する再生装置による画像データ再生方法であって、

過去に前記画像データの再生を停止した日時と前記再生停止時における再生停止位置とを検出し、この再生停止日時及び再生停止位置に基づいて前記画像データにおける再生開始位置を決定し、再生開始の指示に応じて、前記再生開始位置より前記画像データの再生を開始するよう制御することを特徴とする画像データ再生方法。

**【0055】**

[実施態様22] 再生指示に応じて記録媒体より画像データを再生する再生装置による画像データ再生方法であって、

前回前記画像データの再生を停止してから前記再生開始の指示までの経過期間が所定期間を超えている場合には前記画像データの先頭より再生を開始し、前記経過期間が前記所定期間よりも短い場合には前回前記画像データの再生を停止した位置の直前の位置より再生を開始することを特徴とする画像データ再生方法。

**【0056】**

[実施態様23] 実施態様20～22の何れか1項に記載の画像データ再生方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

**【0057】**

[実施態様24] 実施態様23に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

**【0058】****【発明の効果】**

本発明によれば、過去に画像データの再生を停止した日時に基づいて次の再生開始位置を決定し、その再生開始位置から画像データの再生を開始するように構成したので、例えば、前回の再生停止日時から経過した期間が長くなつて忘却しがちなシーンとなる程、前回の再生停止位置から遡った位置より再生を開始させることが可能となる。また、本発明によれば、再生開始位置が制御可能であるため、再生停止時におけるシーンの見逃しにも対応することができる。

**【図面の簡単な説明】****【図1】**

本発明の実施形態を概念的に説明するための図である。

**【図2】**

本発明の一実施形態に係る再生装置のハードウェア構成を概略的に示した図である。

**【図3】**

不揮発性メモリに格納されるレジュームデータの一構成例を模式的に示した図

である。

【図4】

本発明の第1の実施形態に係る再生装置の動作の流れを示したフローチャートである。

【図5】

本発明の第2の実施形態に係る再生装置の動作の流れを示したフローチャートである。

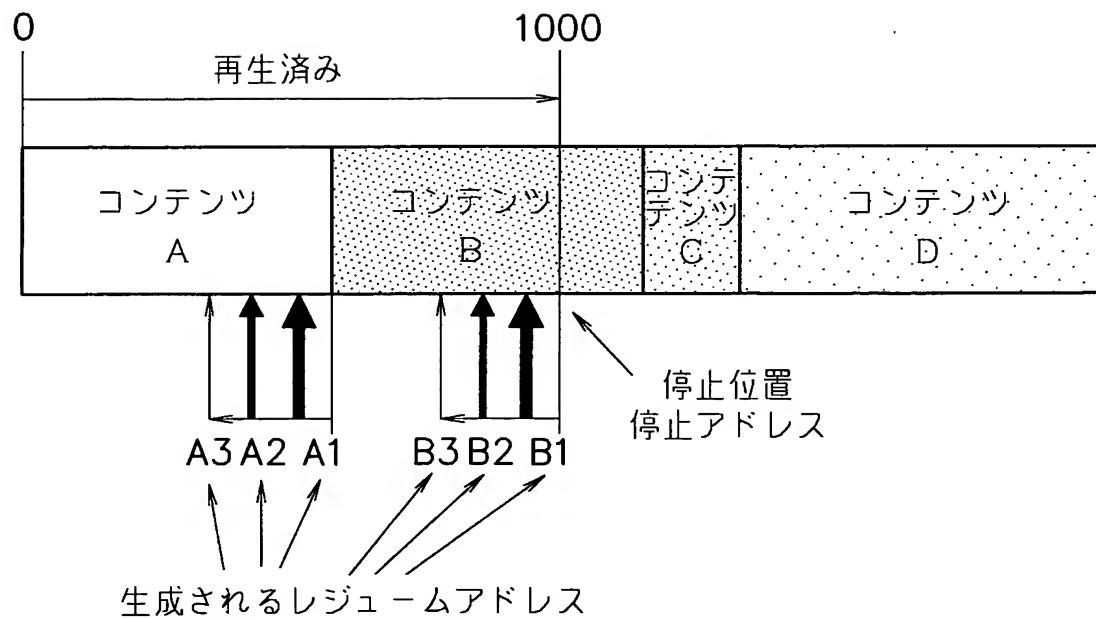
【符号の説明】

- 101 動画データ
- 102 読み取り回路
- 103 不揮発性メモリ
- 104 デコーダ
- 105 操作スイッチ
- 106 システムコントローラ
- 107 システムタイマ

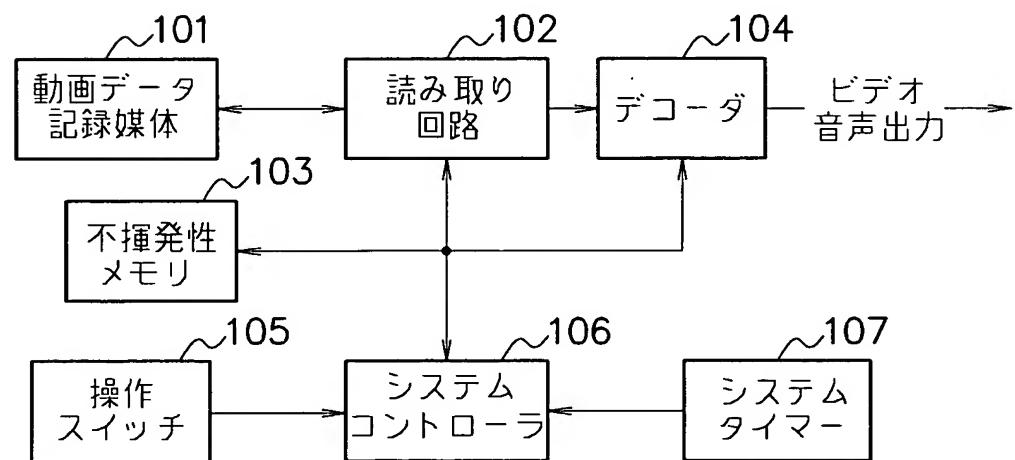
【書類名】

図面

【図1】



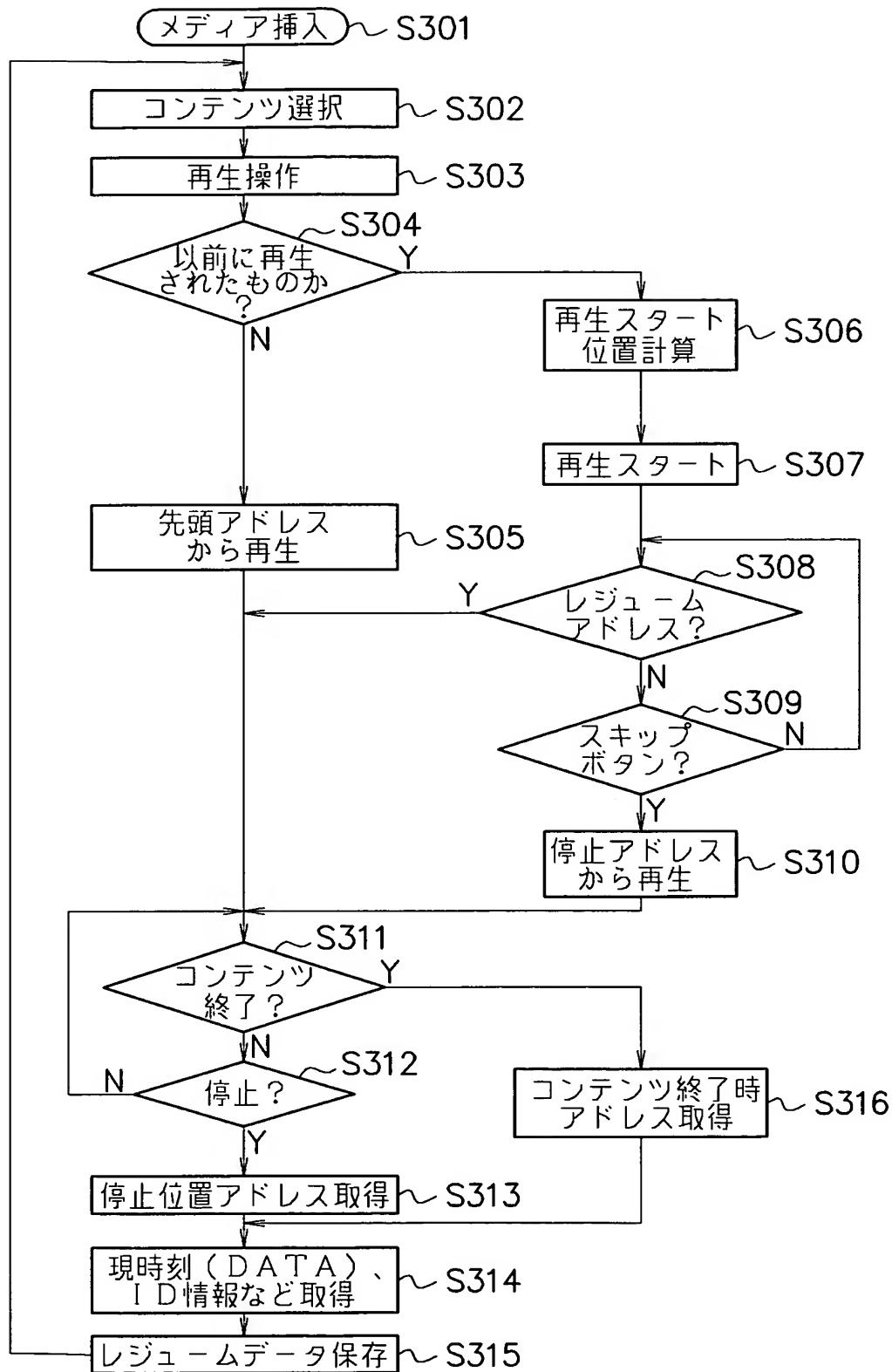
【図2】



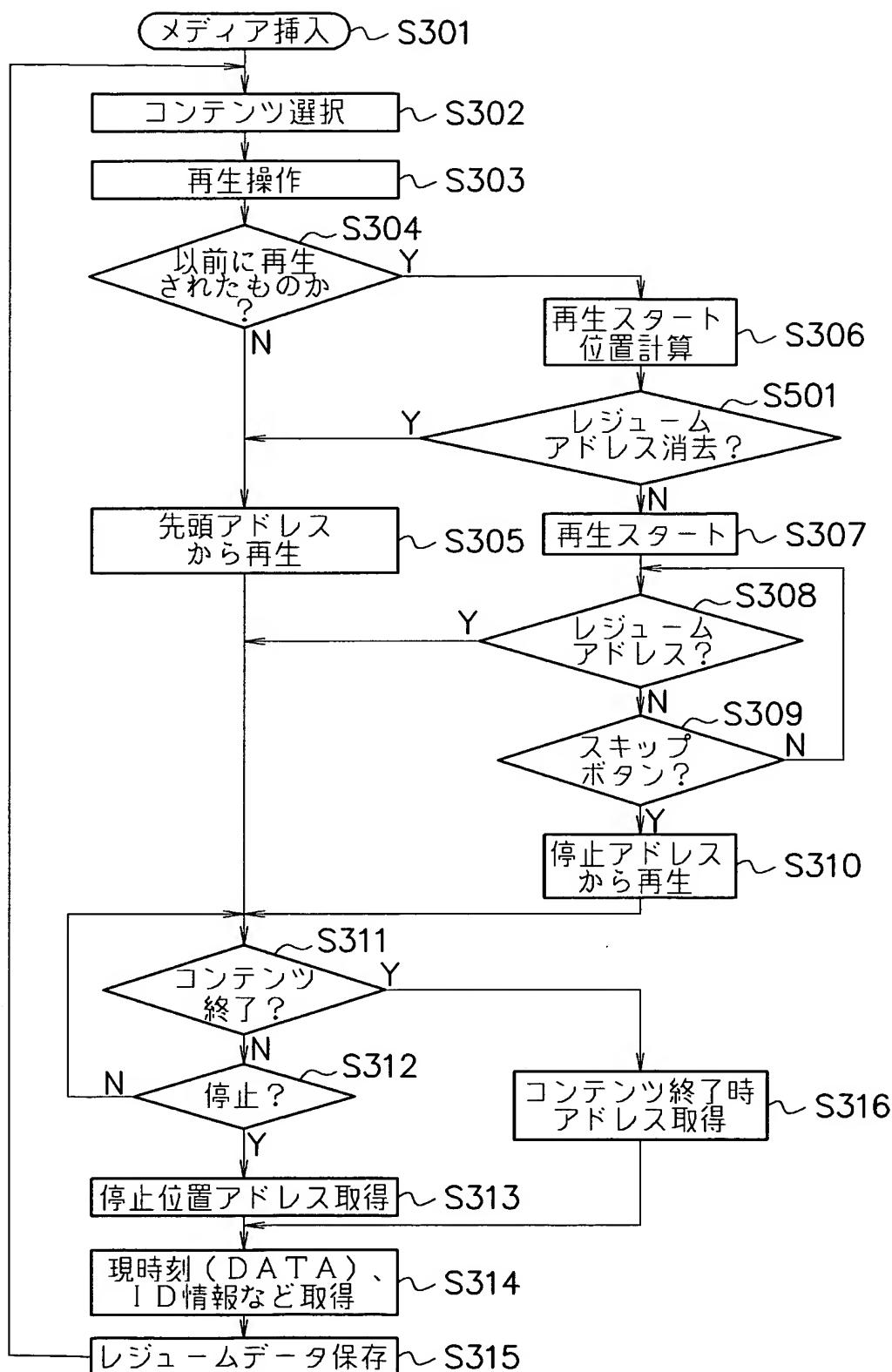
【図3】

識別ID	224278(コンテンツA)
前回停止時間	2002/07/01 22:15
停止アドレス	150543(A1)
総フレーム数	625530
圧縮方式	MPEG4

【図4】



【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザに対して更に利便性の高い再生装置を提供する。

【解決手段】 システムコントローラ(106)は、過去に画像データ(101)の再生を停止した日時を検出し、この再生停止日時に基づいて当該画像データ(101)における再生開始位置を決定する。次に、システムコントローラ(106)は、再生開始の指示に応じて、決定された再生開始位置より当該画像データ(101)の再生を開始するよう制御する。

【選択図】 図2

特願 2003-052557

出願人履歴情報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
氏 名 キヤノン株式会社